

勸善懲惡錦画新開

第貳號

大坂弟二天區八小區  
 幡町二十七番地赤沢何

某が妻ねくらちをも川竹の憂  
 うふ派もれる者ぞれども

たも心もたなく竹乃もなま生れわく此赤沢何某が  
 妻とをうも操正しく千代の行末を契ぬ此頃丈夫病事

のりて既ふ十死一生の場合わたり醫師もさへく手を尽せ  
 とそ取早治療の術をしくお倉をかくと聞かあるまを

うれれど夜あく水を浴と神佛をのりて看病實ふい  
 さいる事を其真心天に通せや既ふ必死もさへく病

氣次第の本復し此頃全快なりと精神到處金石亦徹る  
 と実不感なき事を川竹育ちれうちを又うる貞婦あり所謂

泥中の蓮とて此おらうをあげ

笹木芳瀧画

新聞局

本町四丁目  
 藤井時習舎

勸善懲惡錦画図解2号 文庫10-8072-1

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

